

2016 年度岩手大学社会科目委員会 F D 研修（公開学習会）

大学に求められる主権者教育とは

18 歳へ選挙権が引き下げられたことで、若者に対する『主権者教育』をどのように進めるのかについての関心が高まっています。しかし、従来の大学での学び、特に共通教育では、様々な科目を通じて社会的見聞を広げることには力点が置かれていて、若者の政治的リテラシーや政治参加意識を育むことについては、十分でなかったようにも感じられます。そこで、大学に求められる「主権者教育」とは何かをテーマに、F D 研修の機会を設けました。

2 部構成とし、前半は法教育の分野で著名な江口勇治教授（筑波大学）による講演会、第 2 部では中学・高校における主権者教育の実践報告を交えて、大学で担う主権者教育の内容について、理解を深めたいと思っております。

なお、今回は「主権者教育」という大学ではまだ十分に実践がない領域であるため、この分野に関心をお持ちの中学・高校教員などの皆様にもご参加いただき、意見交換ができればと思います。



日 時 平成 29 年 2 月 17 日（金） 16:30 ~ 18:45（予定）

場 所 岩手大学 学生センター G29

16:30~16:35 ご挨拶、趣旨説明など

16:35~17:35 講演 主権者を育成する教育の充実の重要性

—立法・私法・司法の理解の指導を基本に—

講師 筑波大学教授 江口勇治氏

休憩（10 分程度）

17:45~18:45 教育現場で模索する「主権者教育」とは（実践報告を交えて）

実践報告（各 15 分）

中学校における実践 前 盛岡市立松園中学校教諭 佐藤淳一氏

高校における実践 岩手県立杜陵高等学校教諭 藤澤 健 氏

その後、実践報告を踏まえた 意見交換会（30 分）

問い合わせ先 岩手大学教育学部社会科教育科 菊地 洋

電話 019-621-6518 Email: hkikuchi@iwate-u.ac.jp